

# ふくおかの経済

平成29年11月号

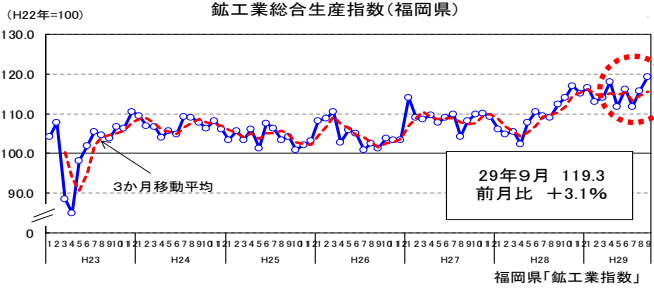


福岡県の景気は、緩やかに拡大しつつある。

## 生産

高水準で推移している

9月の生産指数は、輸送用機械などがけん引し、前月比で2か月続けて上昇しました。引き続き、高水準で推移しています。

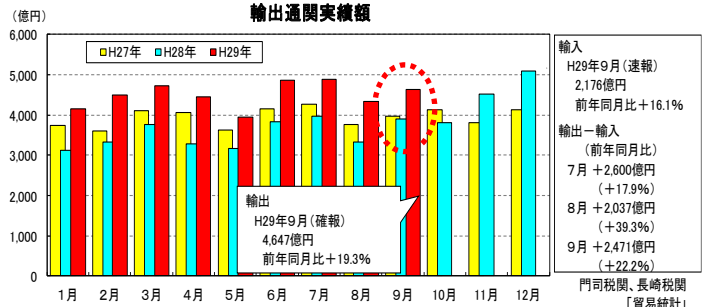


鉱工業生産指数は、平成22年の生産水準を100として、その変化を表しています。

## 貿易

輸出は増加、輸入は回復

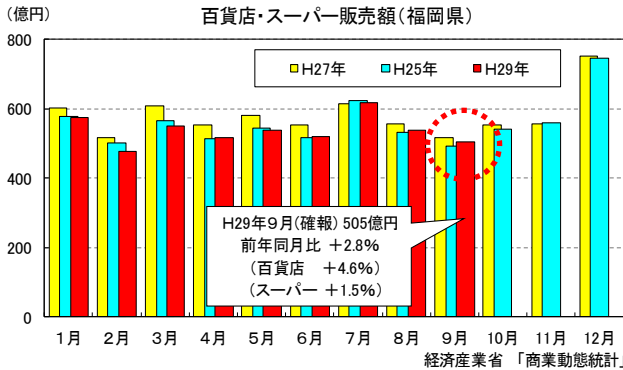
9月の輸出は、米国向けの自動車などの増加により11か月連続で前年を上回り、9月として過去最高額となりました。輸入も、11か月連続で前年を上回りました。



## 消費

着実に回復している

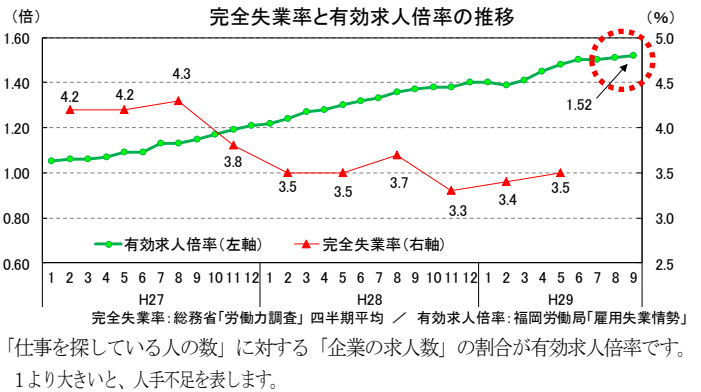
9月の百貨店・スーパー販売額は、衣料品、飲食料品、化粧品や宝飾品等が伸び、2か月連続で前年を上回りました。



## 雇用

着実に改善が進んでいる

9月の有効求人倍率は1.52倍で、昭和38年の統計開始以来、過去最高を更新し、初めて全国と同じ率になりました。



## 今月のトピック 福岡県の第三次産業～商業だけじゃない、特徴的な3業種～

- 福岡県の生産額産業計に占める第三次産業(※)の割合は約77%で、割合の高さは、全国上位4番目です(図1)。
- 生産額の面から全国的にも盛ん(特化係数が1以上)で、かつ従業者数が多い特徴的な産業として、「公共サービス業」、「対事業所サービス業」、「運輸業」の3業種を挙げることができます(図2)。
- この3業種の労働生産性をみると、いずれも全国を上回っており、生産性が高い業種であることもわかります(図3)。

「公共サービス業」は病院や福祉事業所など、「運輸業」は鉄道、バス、タクシーなど生活上も身近な産業じゃな。「対事業所サービス」は企業間で行われるサービスで、人材派遣、広告、リースなどがあるのじゃ。

図1 都道府県内総生産の産業別構成比

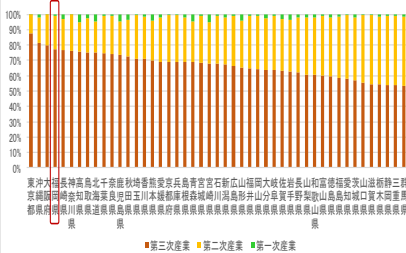


図2 福岡県の第三次産業における生産額特化係数と従業者数割合

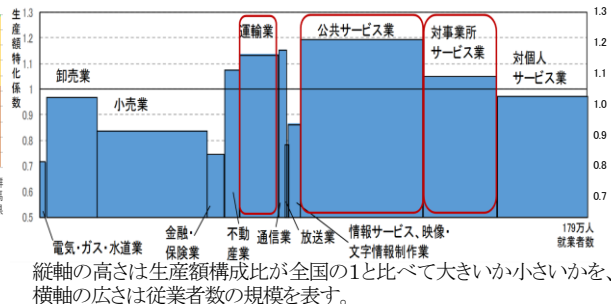


図3 福岡県の第三次産業の労働生産性(対全国比)

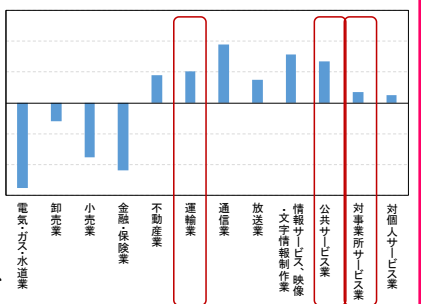


図1～3(資料)福岡県「平成26年度 県内経済計算」/内閣府「平成26年 国民経済計算」/総務省「平成26年 経済センサ基礎調査」から作成

※ 本トピックでは、第三次産業に、政府サービスと対家計民間非営利サービスは含まない。

(トピック担当: 分析1班 用松)